

第4学年 国語科学習指導案

公開授業Ⅰ 4年1組

公開授業Ⅱ 4年2組

児童 4年1組 計22名
 4年2組 計24名
 授業者 4年1組 佐々木 通子
 4年2組 鈴木 良子

1. 単元名 くらべる点をもって読み、よさを説明する「なるほどリーフレット」を作ろう
 教材名 「くらしの中の和と洋」(東京書籍 4年下)
2. 身につけさせたい力と単元を貫く言語活動の構想

単元を貫く言語活動

<児童の実態>

- 文の主述に気をつけて読み取る力は、ほぼ定着している。
 - 「始め」「中」「終わり」の段落構成をおさえて読むことができる。
 - 段落の中心となる文や大事な語句を見つけて読むことができる。
- △NRTの結果から、段落に注意して読んだり、内容を整理したり、要点をまとめたりすることの定着が不十分である。
- △文章を読むことや、考えたことを文に表すことを苦手としている子が多い。
- △進んで読書している児童が少なく、活用力、語彙力が不足している。

<身につけさせたい力>

- ・段落ごとに書かれている内容をとらえ、対比されている事柄に注意して読み取る力。(読むこと イ)
- ・目的に応じて、文章の必要な部分を引用する力(読むこと カ)

<言語活動>

和と洋について興味を持ったことを図鑑や事典などを読んで調べ、「なるほどリーフレット」にまとめること。
 (言語活動例 イ)

<既習事項>

- ・説明文の構成をとらえること。
- ・順序に気をつけて読むこと。
- ・中心となる後や文をとらえること。
- ・問いの答えとなる文や、くり返し出てくる大切な言葉を見つけること。
- ・文章を要約すること。

<これからも指導していきたい力>

- ◇文章を要約する力。
- ◇目的に応じて、文章の必要な部分を引用する力。
- ◇段落ごとに書かれている内容をとらえ、対比されている事柄に注意して読み取る力。
- ◇考えや感想を発表し合い、一人ひとりの感じ方にちがいがあることに気づく力。

3. 単元について

(1) 言語活動の特徴とつきたい力との関係

本単元で身につけさせたい力は、段落ごとに書かれている内容をとらえ、対比されている事柄に注意して読み取る力と、目的に応じて、文章の必要な部分を引用する力である。そこで、本単元での言語活動は、くらしの中の和と洋について興味を持ったことを図鑑や事典などを利用して調べ、分かったことを「なるほどリーフレット」にまとめることである。

疑問や課題を解決するために、比べる観点を決めて関連する様々な図鑑や事典を読み、利用することになる。その際、まとまりを意識して読むことで、文章から必要な情報を読み取ることができるようになる。と考える。

「なるほどリーフレット」は、選んだものの違いや初めて知ったことをまとめた短い文章と、文章に関連する絵を入れたものである。文章は、観点ごとに対比する事柄のまとまりを意識した文章構成とする。「なるほどリーフレット」にまとめる活動を通して、内容をとらえ、対比されている事柄に注意して読み取る力をつけていくこととする。

(2) 指導にあたって

本単元は、段落ごとに書かれている内容をとらえ、対比されている事柄に注意して読む力を身につけさせることをねらいとしている。そのため、教材文「くらしの中の和と洋」を通して、事柄を比べながら読むこと、内容のまとまりに気をつけて読むことを学習していく。

第一次では、教師自作の「なるほどリーフレット」を読み、何をどのように比べているのかについて関心をもたせる。そして、本単元のねらいを知り、和と洋について興味を持たせながら、5年生に紹介したいという思いを高めていく。調べたことを相手に分かりやすく伝えるために、引用するという気づかせながら、「なるほどリーフレット」を作るための学習計画を立て見通しを持たせる。

また、くらしの中の和と洋に関する本は、いつでも手に取れるように廊下に置き、並行読書に取り組ませる。

第二次では、「くらしの中の和と洋」の文章に小見出しをつけ、文章を概観させる。そして、段落のまとまりをおさえながら、「過ごし方の良さ」「使い方の良さ」という観点を決めてリライトすることを通して、比べながら読む力を高めていきたい。また、文章中に対比の言葉や引用を使いながら、第三次の言語活動である「なるほどリーフレット」と同じ文章構成で行うことで、第三次に学習をつなげていきたい。

そして、まとまりごとに内容を考える際に、実生活の経験を出させたり、各自になるほどと思ったことを問いかけたりすることで、一人ひとりの気づきを大切にしていきたい。

第三次では、並行読書してきた本の中から、自分で決めたくらしの中の和と洋の「なるほどリーフレット」を作成する。まず、資料を使って調べるには、目次や小見出しなどを活用して大まかに見ていくことで、必要な情報のみを選び出させることを学習していく。次に、調べたいことについての資料を見つけ、資料から比べる観点到合わせて読み取った内容をメモする。そして、第一次で提示したリーフレットを再提示し、対比の言葉や順序を表す言葉を用いて、第二次で学習した文章構成と同じようにリーフレットにまとめられるようにする。出来上がった「なるほどリーフレット」は、5年生に紹介し感想をもらうことで、作り上げた満足感を味わわせたい。

4. 単元の目標と評価規準

- ・暮らしの中の文化に関心を持って読み、5年生に伝えるために進んで資料を探して調べたり「なるほどリーフレット」を作ろうとしたりしている。(国語への関心・意欲・態度)
- ・何をどのように比べているかをとらえて読むことができる。(読むこと)
- ・課題に応じて内容をまとめるために、文章の必要な部分を要約したり引用したりできる。(読むこと)
- ・書く事柄を整理し、まとまりに気をつけて文章を書くことができる。(書くこと)
- ・接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うことができる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

(評価規準)

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
・暮らしの中の文化に関心を持って読み、進んで資料を探して調べたり、「くらしの中の和と洋」なるほどリーフレットを作ろうとしたりしている。	・段落ごとに書かれている内容をとらえ、対比されている事柄に注意して読んでいる。(イ) ・目的に応じて内容をまとめるために、文章の必要な部分を要約したり、引用したりしている。(エ)	・身の回りの「和」と「洋」について調べ、それらを比べて文章に書く事柄を集めている。(ア) ・書く事柄を整理し、まとまりに気をつけて文章を書いている。(イ)	・接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解している。(イ(ク))

5. 単元の指導計画（11時間）

次	時	主な学習活動	言語活動に関する留意点	評価規準 (評価方法)
第一次	1 (1組本時)	<ul style="list-style-type: none"> 「なるほどリーフレット」を読み、何をどのように比べているのかについて関心をもつ。 「和と洋」について調べ、調べたことを5年生に伝えるため、分かりやすい「なるほどリーフレット」を書くという見通しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 和と洋のものを比べ、どんな点が違うか考えさせ、それが比べる観点になることに気づくことができるようにする。 「和と洋」の調べたい内容を見つけたら、みんなに知らせられるように「和と洋発見カード」として教室に掲示する。 	<p>【関】 くらしの中の和と洋に関心を持ち、「なるほどリーフレット」を作ることに興味を持っている。 (発言)</p>
	1	<ul style="list-style-type: none"> 学習計画を立てる。 「なるほどリーフレット」からカードの構成をおさえる。 引用のよさや表し方を知る。 並行読書カードへのメモの仕方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> もとの資料と「なるほどリーフレット」を照らし合わせて、まとまりを意識させ、段落構成をおさえる。 引用することの良さに気づかせるために、前時に提示したリーフレットを再提示し、初めての文章表現(引用)について話し合う。 	<p>【関】 気づいたことを話し合い、学習の見通しを持っている。 (発言・学習シートの記述)</p>
第二次	1	<ul style="list-style-type: none"> 教材文を大まかな段落に分け、文章構成をとらえ、まとまりごとに小見出しをつける。 	<ul style="list-style-type: none"> 「中」にある詳しい説明が、小見出しを付けた段落のまとまりになっていることをおさえ、それが「なるほどリーフレット」のものになることを意識させる。 	<p>【説】 「中」を3つのまとまりに分け、まとまりごとに大事な言葉や文をとらえて読んでいる。 (発言・学習シートの記述)</p>
	2	<ul style="list-style-type: none"> 「過ごし方のよさ」という観点で読み、リライトする。 読み取った内容から「なるほどと思ったこと」を選び、引用の形式で表す。 	<ul style="list-style-type: none"> 話形を示して、リライトできるようにする。 「それに対して」「一方」という言葉を使って対比的に表現させる。 引用は、具体例から引用させる。 	<p>【説】 大事な言葉や文をとらえて読んだり、「なるほど」と思ったことを引用したりしている。 (発言・学習シートの記述)</p>
	1 (2組本時)	<ul style="list-style-type: none"> 「使い方のよさ」という観点で読み取るためにリライトする。 読み取った内容から「なるほどと思ったこと」を選び、引用の形式で表す。 学習の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「それに対して」という言葉を使うことを確認し、前回のリライトに習って、「使い方のちがいと良さ」についてリライトできるようにする。 前時と同様に、具体例から引用するように声をかけていく。 	
第三次	1	<ul style="list-style-type: none"> 「くらしの中の和と洋」について、資料を使って調べる方法を知る。 自分の調べたい「和と洋」を決める。 調べたいものの比べる視点を決める。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料を使って調べるには、目次や小見出しなど大まかに見ていくことで、必要な情報のみを選び出させる。 	<p>【説】 必要な情報を読み比べるための方法(調べ方)を理解して読んでいる。 (発言・学習シートの記述)</p>
	1	<ul style="list-style-type: none"> 調べたいことについての資料を見つけ、資料から比べる視点に合わせて読み取った内容をメモする。 資料を読んで、比べる視点をもとに「和と洋のちがいやよさ」「なるほどと思ったこと」を見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> メモの書き方は、必要な情報だけを書き抜くこと、出典、ページを必ず書きとめること、などに気をつけるように声をかけていく。 	<p>【説】 調べたいものについて、必要な情報をとらえて読んだり、引用したりしている。 (発言・学習シート・リーフレットの記述)</p>
	1	<ul style="list-style-type: none"> 調べて集めた情報を段落のまとまりに気を付けて、「なるほどリーフレット」にまとめる。 「なるほどと思ったこと」を引用して表す。 	<ul style="list-style-type: none"> 第一次のリーフレットを再提示し、対比の言葉や順序を表す言葉を用いて、書いていることを確認する。 集めた情報のメモを文章に表すには、どのようにしたら良いか考えさせる。 	
	1	<ul style="list-style-type: none"> 「衣」「食」それぞれの分野ごとに、作成した「なるほどリーフレット」を読み合い、相互評価をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価の視点以外にも、作成したリーフレットの中でいいなと思うところを認め合えるようにする。 	
	1	<ul style="list-style-type: none"> 異分野のなるほどリーフレットを読み合い、「なるほどと思ったこと」「さらに調べてみたいと思ったこと」などについて感想を交流する。 単元の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> リーフレットを読み合う時間、感想を出し合う時間を保障する。 	

公開授業 I 4年1組 本時

6. 本時の学習（1時間/11時間）

（1）目 標

くらしの中の和のもの、洋のものに関心を持ち、本で調べ、まとめようという単元の学習について見通しを持つことができる。

（2）展 開

段階	活 動 内 容	・手立て及び留意点 ◇評価規準
導 入	1. くらしの中の和のもの、洋のものを何点か提示し、子ども達に興味を持たせる。 2. 学習課題を知る。 本時の学習課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なくらしの中にある和のものと洋のものを子ども達に提示し、関心が持てるようにする。 ・本時は、関心を持った自分たちの生活の中にある和と洋について、これから、どのように学習を進めていくか話し合っていくことをおさえられるようにする。
これからの学習の見通しを持とう。		
展 開	3. 自分たちのまわりにある和と洋について、全体で交流し合う。 ・初めに知っていることを、グループで話し合う。 ・和と洋の仲間分けをする。 4. 和と洋についての考えを交流し合う。 (1) グループ毎にでたことを発表する。 (2) 全体で交流する。 (3) 「はし」と「フォーク」について、知っていること、それぞれの良さを書いてみる。 5. 調べた考えをまとめるのに適した方法と誰に伝えるかを考える。 6. モデル文の「なるほどリーフレット」を紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間分けの理由を発表させながら、身の回りの物を「和」と「洋」に分ける。 ◇身の回りをふり返り、和のもの、洋のものに気づき、意欲的に話し合っている。 ・どんな点が違うかを考えさせ、くらべる観点になることに気づけるようにする。 (材質、形、使い方、使う場面など) ・まず、自分たちの知っている情報を出し合い、もっとくわしく知るためには図鑑等で調べるとよいことに気づかせる。 ・今までの言語活動をふりかえり、調べたことを伝えやすい方法を考えさせる。 (〇〇カード、研究レポート、シート、写真説明文) ・去年、やったことのある5年生に知らせるのはどうか、投げかけてみる。 ・「なるほどリーフレット」を提示し、単元を貫く言語活動を設定する。 ・カードを書く際に、どんなことを書いたらいいか考えさせる。くらべる点は、選んだものによって異なることも確認する。
終 末	7. 単元の名前を設定する。 8. 感想とめあてを書く 9. 次時の学習を確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「くらべる点をもって読み、よさを説明する『なるほどリーフレット』を作ろう。」という単元名を設定する。 ◇くらしの中の和と洋に関心を持ち、「なるほどリーフレット」を作ることに興味を持っている。 ・単元の学習計画を作っていくことを確認する。

7. 板書計画

はし	くらべる点	フォーク
	よさ	

モデル文
「なるほどリーフレット」

絵

絵

—くらしの中の和と洋—

これからの学習の見通しをもとう。

くらべる点——調べるもの——比べる

- ・ 形、材質
- ・ 使い方
- ・ 使う場面
- ・ よさなど

単元名

くらべる点をもつて読み、よさを説明する
「なるほどリーフレット」を作ろう。

公開授業Ⅱ 4年2組 本時

6. 本時の学習（6時間／11時間）

（1）目 標

「使い方の良さ」の段落を読み、大事な言葉や文を落とさずに、引用を入れながら、なるほどリーフレットへのまとめ方が理解できる。

（2）展 開

段階	活 動 内 容	・手立て及び留意点 ◇評価規準
導 入	1. 前時を想起する。 2. 学習課題を知る。 ・今日の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">和室と洋室の「使い方の良さ」を比べて読み、まとめよう。</div>	・自分たちが作ったなるほどリーフレットを5年生に紹介することを確認する。 ・文章構成のおさえを想起させ、本時に学習する段落のまとまりをとらえられるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">なるほどリーフレットの書き方 ・順序を表す言葉を使う。（まず、次に、このように） ・対比するときの言葉（一方 ～に対して） ・くらべる点ごとに、対比して書く。 ・初めて知ったこと、なるほどと思ったことは引用を使って書く。</div> ・教科書P40L6～P41L4を音読する。
展 開	3. 和室と洋室の比べる点をはっきりさせて、メモに整理していく。 ・微音読しながら、サイドラインを引く。 ・発表する。 4. 「なるほどと思ったこと」にサイドラインを引き、引用する文を選ぶ。 5. 和室と洋室の「使い方の良さ」について学習シートにリライトする。 6. 和室と洋室「使い方の良さ」についてまとめたことを発表する。	・「使い方の良さ」という視点であることを確認する。 ・大事な言葉や文（中心文）を見つけてサイドラインを引かせる。 ◇大事な言葉や文をとらえて読んでいる。 ・引けなかった子には、友達の発表から大事な言葉や文をとらえられるようにする。 ・具体例の文から自分がるほどと思った文を選ばせるようにさせる。 ・前時に学習したリーフレットの様式にした学習シートを参考にさせる。 ・リライトしやすいように書き出しを与える。 ◇和室と洋室のそれぞれの良さについての大事な言葉や文を段落のまとまりからとらえて読み、まとめている。 ・まとめ方に困っている子には、板書を手がかりにまとめるよう声がけをする。 ・自分と友達の文章を比べて、大事な文が入っているか、引用が入っているかの観点で読み合わせる。 ・ペアで読み合わせてから全体に発表させる。
終 末	7. 本時のまとめをし、第二次の振り返りをする。	・なるほどカードの書き方についてまとめる。 ・第二次を振り返り、次時への意欲をもたせる。

7. 板書計画

ことばチャレンジ学習
くらべる点をもって読み、
よさを説明する「なるほどリーフレット」を作ろう

和室と洋室の「使い方の良さ」を比べて読み、
まとめよう。

なるほどリーフレットの書き方

- ・ 順序を表す言葉を使う。(まず、次に、このように)
- ・ 対比するときの言葉(一方、くに対して)
- ・ くらべる点ごとに、対比して書く。
- ・ 初めて知ったこと、なるほどと思ったことは、引用を使って書く

洋室の良さ

- ・ その部屋で何をすることがはっきりしている。

和室の良さ

- ・ 一つの部屋をいろいろな目的に使うことができる。

《使い方の良さ》

